

2025年11月19日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 タ ス キ ホ ー ル デ ィ ン グ ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 柏 村 雄
(コード番号：166A 東証グロース)
問 合 せ 先 執行役員 M&A・グループ戦略部長 浅 井 亨
(TEL 03-6447-0575)

当社取締役会実効性評価の概要について

当社は、当社が持続的成長と中長期的な企業価値の向上等、上場企業としての責務を果たす上では、株主より負託を受けた取締役及び取締役会が真にその機能を発揮し、期待される役割を果たすことが必須との考えから、毎年取締役会の実効性について評価・分析を行い、その概要を開示することとしております。

この度、2025年9月期における取締役会実効性評価を実施いたしましたので、その概要について以下のとおり報告いたします。

記

1. 評価の方法

実施初年度である今期は、全取締役（5名）及び全監査役（3名）を対象に、アンケートを実施し、アンケートの分析結果について取締役会で議論を行いました。
また、評価においては、評価プロセスの高度化及び評価の充実を目的として第三者機関を活用いたしました。

2. アンケート項目

今期のアンケート項目は以下のとおりです。
選択肢を設けない自由記述形式の設問を除き、各設問に5段階評価形式の選択肢を設けております。また、各設問に自由記述欄を設けております。

- ① 取締役会の役割・機能
- ② 取締役会の構成
- ③ 取締役会の運営
- ④ 内部統制等の整備
- ⑤ 社外取締役の活用
- ⑥ 株主・投資家との関係
- ⑦ 総括
- ⑧ 当社ガバナンス体制等に関する自由記述設問

3. 評価結果の概要

上記によるアンケートの結果は、肯定的評価が 90.4%を占めていたことから、当社取締役会の実効性は十分に確保されていると評価いたしました。また、取締役会の実効性について下記のとおり認識をいたしました。

- ・ 取締役会は比較的少人数であるが、各人のスキル・経験・知識は、全体として幅広く且つ十分な水準で備えられており、そうしたスキル・経験・知識を背景に幅広い意見が交わされており、意思決定の質が高い
- ・ 取締役会では、社外取締役及び社外監査役が活発に発言しており、オープン且つ自由闊達な運営がなされている
- ・ 内部通報制度やリスク管理体制を始めとした内部統制が適切に整備・運用されており、取締役会の監督状況についても高く評価、引き続き内容の充実を図っていくことが望まれる

上記の通り、今期の取締役会実効性評価の結果、取締役会の構成やオープンで闊達な議事運営といった点を中心に当社取締役会の強みが確認できました。

一方で、経営層の後継者計画、次期経営層の候補者育成に関する議論の拡充等の課題について共有いたしました。

4. 課題と対応策

今期の評価によって認識された課題に対して、取締役会の議論を深め、適切に対策を講じていくことで、当社取締役会の実効性の向上を図り、ひいては当社の持続的な成長及び中長期的な企業価値の向上を実現させて参ります。

以上